

道路新設改良事業における令和 8 年度（2026 年度）予算について

1 事業の内容

道路の新設、道路の改良等整備、道路の無電柱化整備、自転車通行空間の整備、道路舗装の更新等整備、道路のバリアフリー化整備、狭小道路の幅員拡幅等の整備、私道の舗装助成

- 主な工事：A 吹田駅前線回廊改修工事
B 岸部南吹田駅線道路改良工事
C 江坂町 4 号線道路舗装工事
D 藤白古江線自転車通行空間整備工事

2 予算額

(1) 歳出予算 623,541 千円

（款）土木費（項）道路橋梁費（目）道路新設改良費

（大事業）道路事業（小事業）道路新設改良事業

節名称	予算額(千円)	説明等
委託料	106,876	道路改良工事設計業務委託料ほか
工事請負費	510,495	道路改良工事費ほか
負担金、補助及び交付金	2,170	私道舗装工事助成金ほか
補償、補填及び賠償金	4,000	電柱移設費

(2) 歳入予算（特定財源） 482,920 千円

（款）国庫支出金（項）国庫補助金（目）土木費国庫補助金

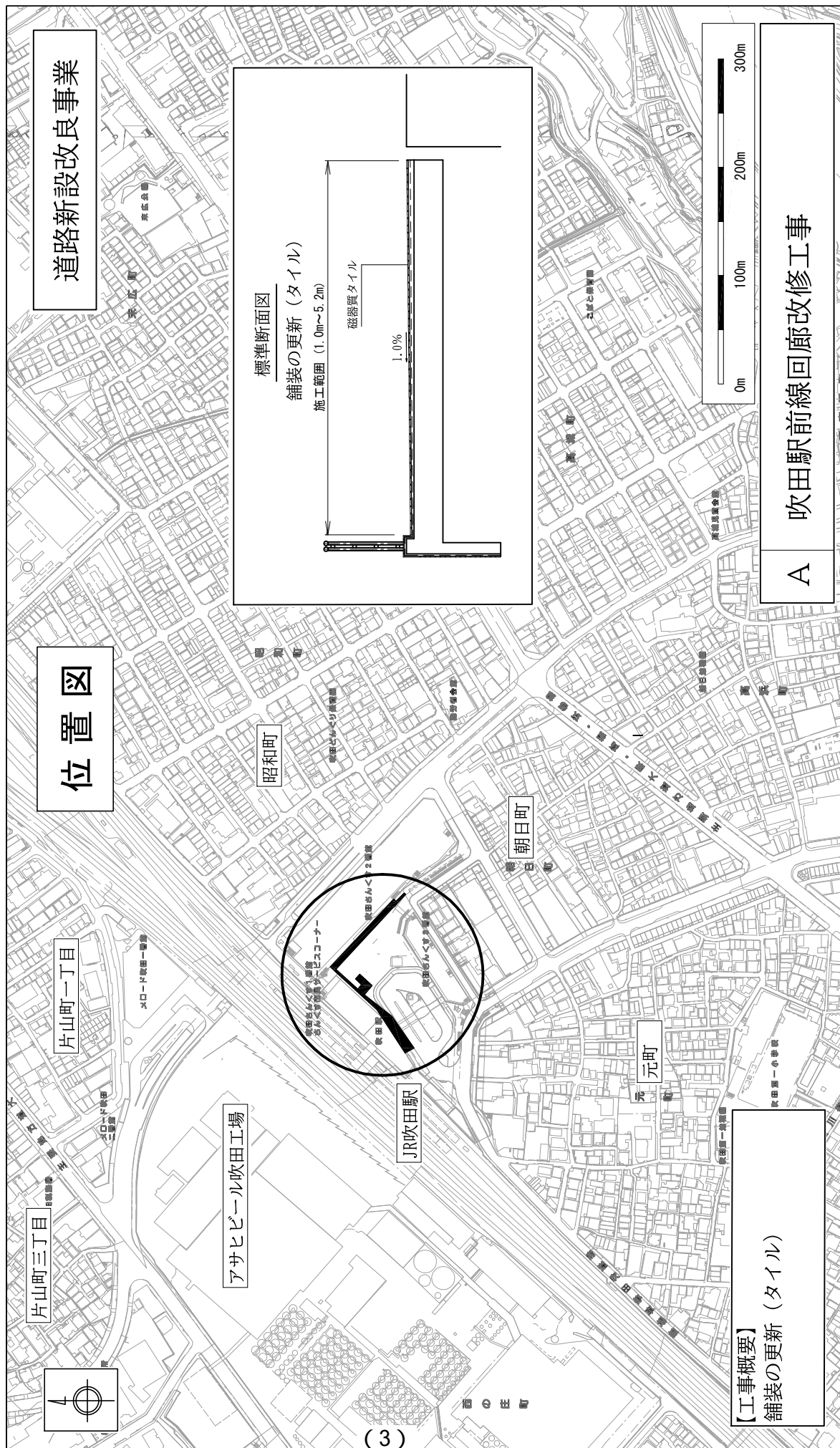
節名称	予算額(千円)	説明等
社会資本整備総合交付金	20,620	補助率 5.5/10

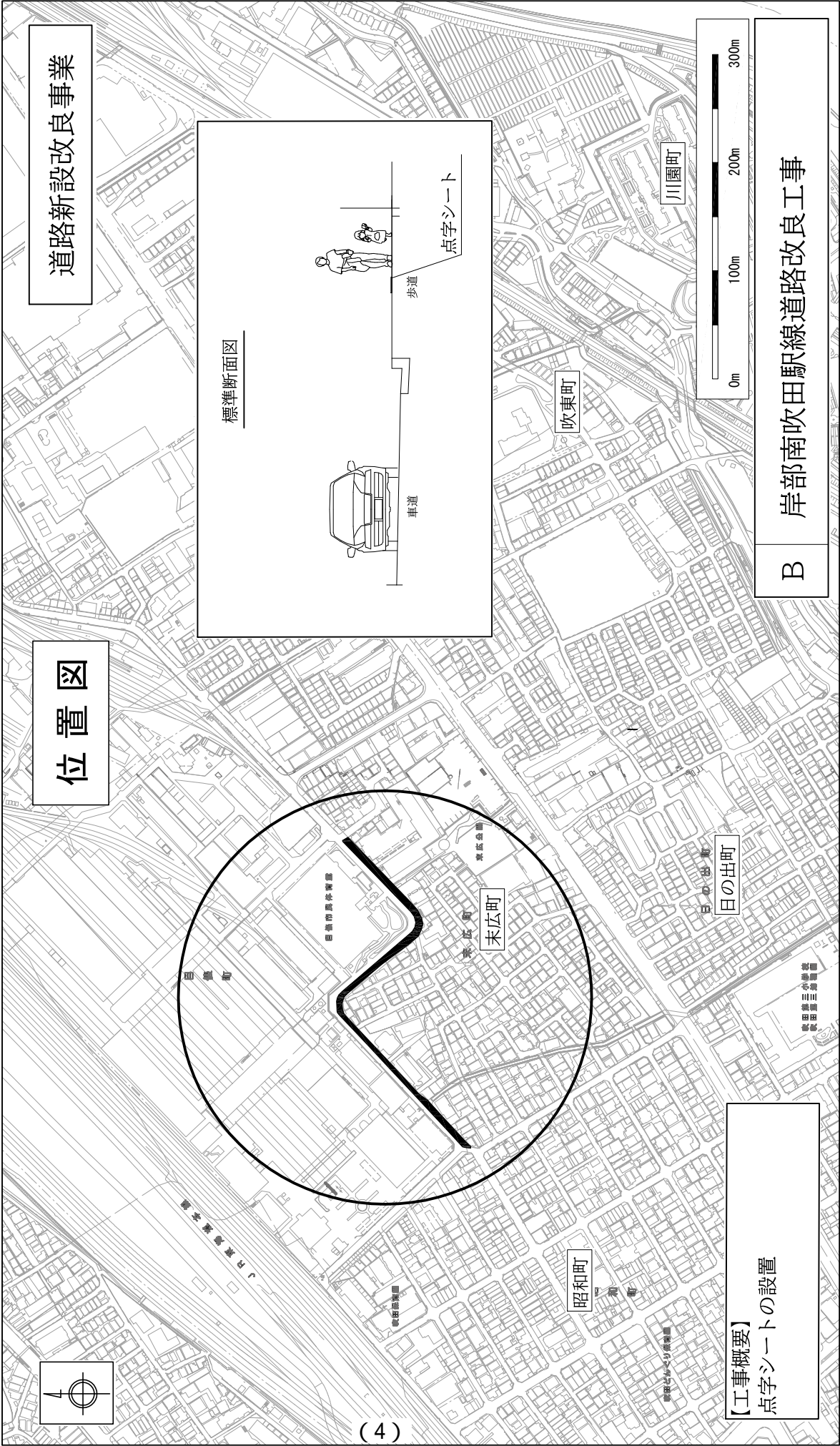
（款）市債（項）市債（目）土木債

節名称	予算額(千円)	説明等
道路整備事業債	462,300	—

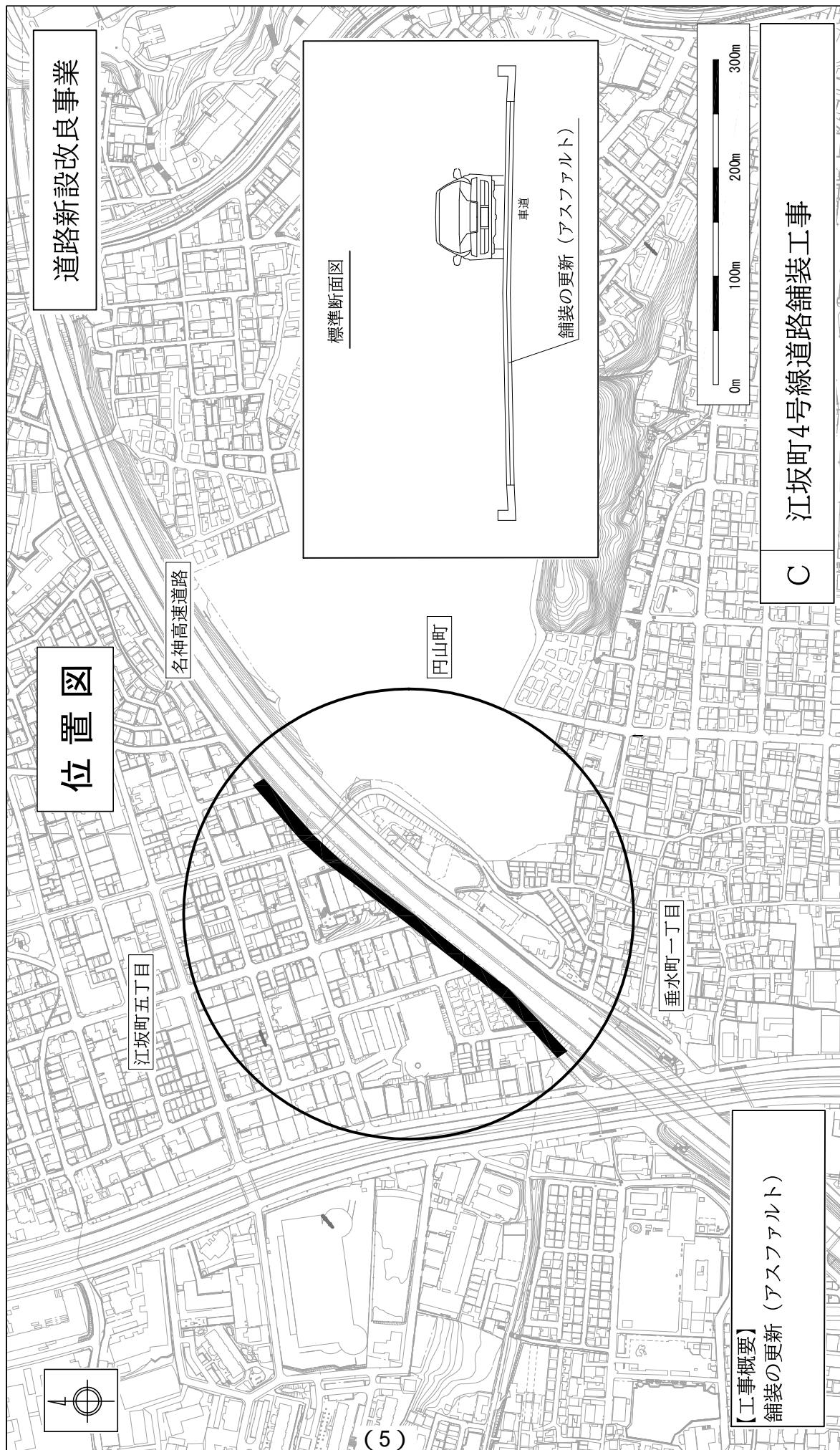
3 今後の予定

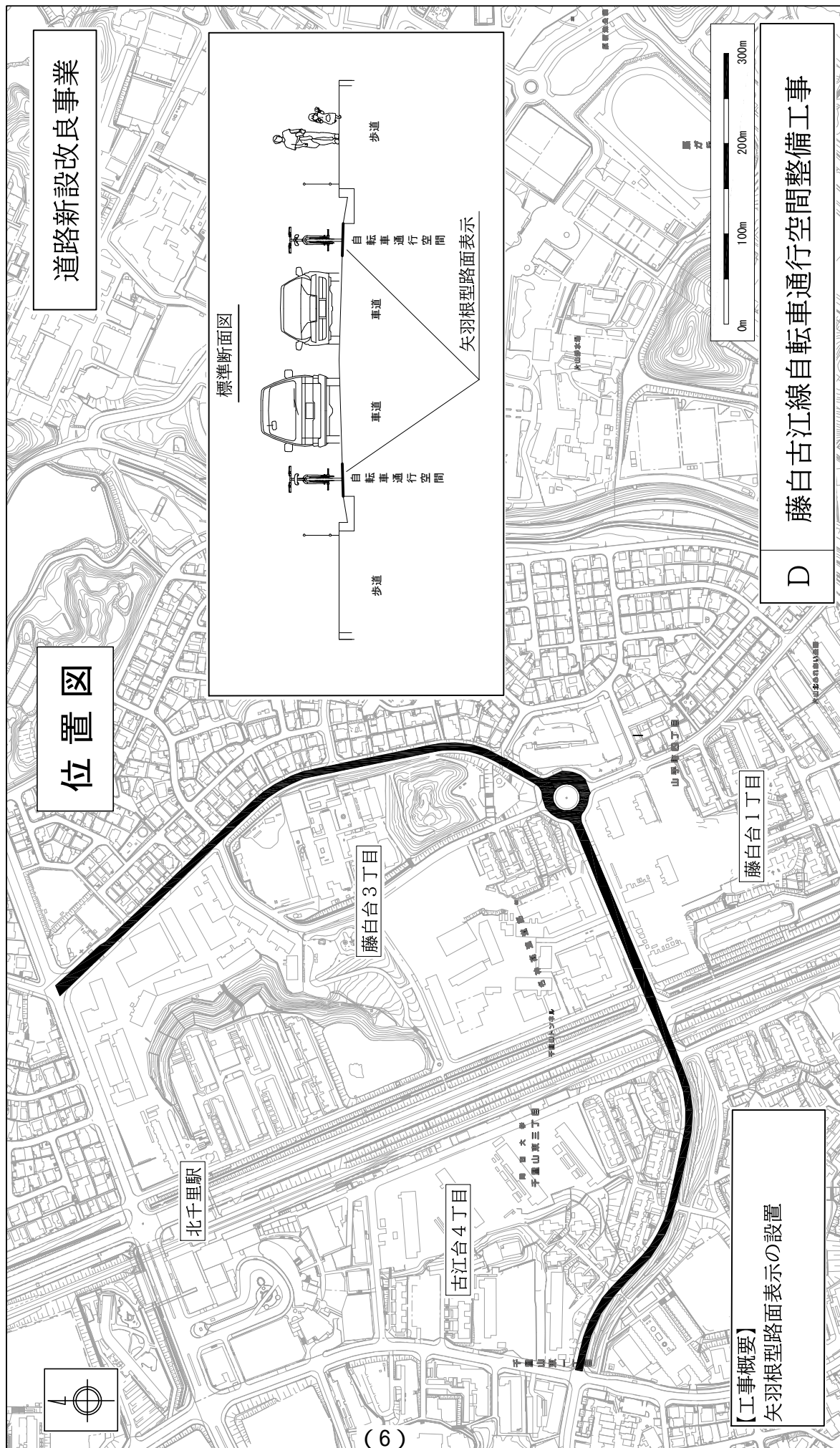
令和8年度（2026年度）以降	道路の新設、道路の改良等整備、道路の無電柱化整備、自転車通行空間の整備、道路舗装の更新等整備、道路のバリアフリー化整備、狭小道路の幅員拡幅等の整備に伴う調査設計業務及び工事
-----------------	--





(4)





交通安全対策事業における「自転車ヘルメット着用促進事業」について

1 事業の内容

道路交通法の改正により、令和5年(2023年)4月1日から全年齢層に対して自転車ヘルメットの着用が努力義務化されたため、市民にヘルメットの着用を促進するため、自転車用ヘルメット購入補助事業を令和5年度(2023年度)から令和7年度(2025年度)第2回までの実施で、合計4,440名の方に補助金交付を行ってまいりました。

また、令和8年(2026年)4月1日より施行される道路交通法の改正により違反の罰則化が厳しくなることから、市民へ交通ルールやマナーの講習会等の実施を予定しております。その中で、ヘルメット着用の内容も盛り込み、今後ヘルメットを実際に着用される方で着用に関して積極的なPRや発信をしていただける方に対し、自転車用ヘルメットを配布します。

2 予算額

(1) 歳出予算 500 千円

(款) 土木費 (項) 道路橋梁費 (目) 交通対策費

(大事業) 交通対策事業 (小事業) 交通安全対策事業

節名称	予算額 (千円)	説明等
需用費	500	自転車用ヘルメット購入費 (100 個分)

3 今後の予定

受講対象者	吹田市在住の方
実施期間	令和8年(2026年)6月・9月頃 実施予定
詳細	1部(午前): 高校生以上を対象とした講習 2部(午後): 中学生以下を対象とした実技又は講習
配布対象者	講習の参加者から抽選 各回25名予定
申請方法	電子申込又は書類
配布条件	吹田市オリジナルヘルメット(仮称)を積極的に着用し、周囲に着用を口頭やSNS等を通じて発信していただける方

橋梁新設改良事業における令和 8 年度（2026 年度）予算について

1 事業の内容

吹田市橋梁耐震化計画や吹田市橋梁長寿命化修繕計画等に基づく補強・補修工事及び調査設計

主な工事：A 高浜橋耐震補強及び補修工事
B あやめ橋補修工事

2 予算額

(1) 歳出予算 500,795 千円

(款) 土木費 (項) 道路橋梁費 (目) 橋梁新設改良費

(大事業) 道路事業 (小事業) 橋梁新設改良事業

節名称	予算額(千円)	説明等
委託料	122,682	橋梁耐震補強、補修、改良設計業務委託料、工事委託料
工事請負費	378,113	橋梁耐震補強、補修、改良工事費

(2) 歳入予算 (特定財源) 455,034 千円

(款) 国庫支出金 (項) 国庫補助金 (目) 土木費国庫補助金

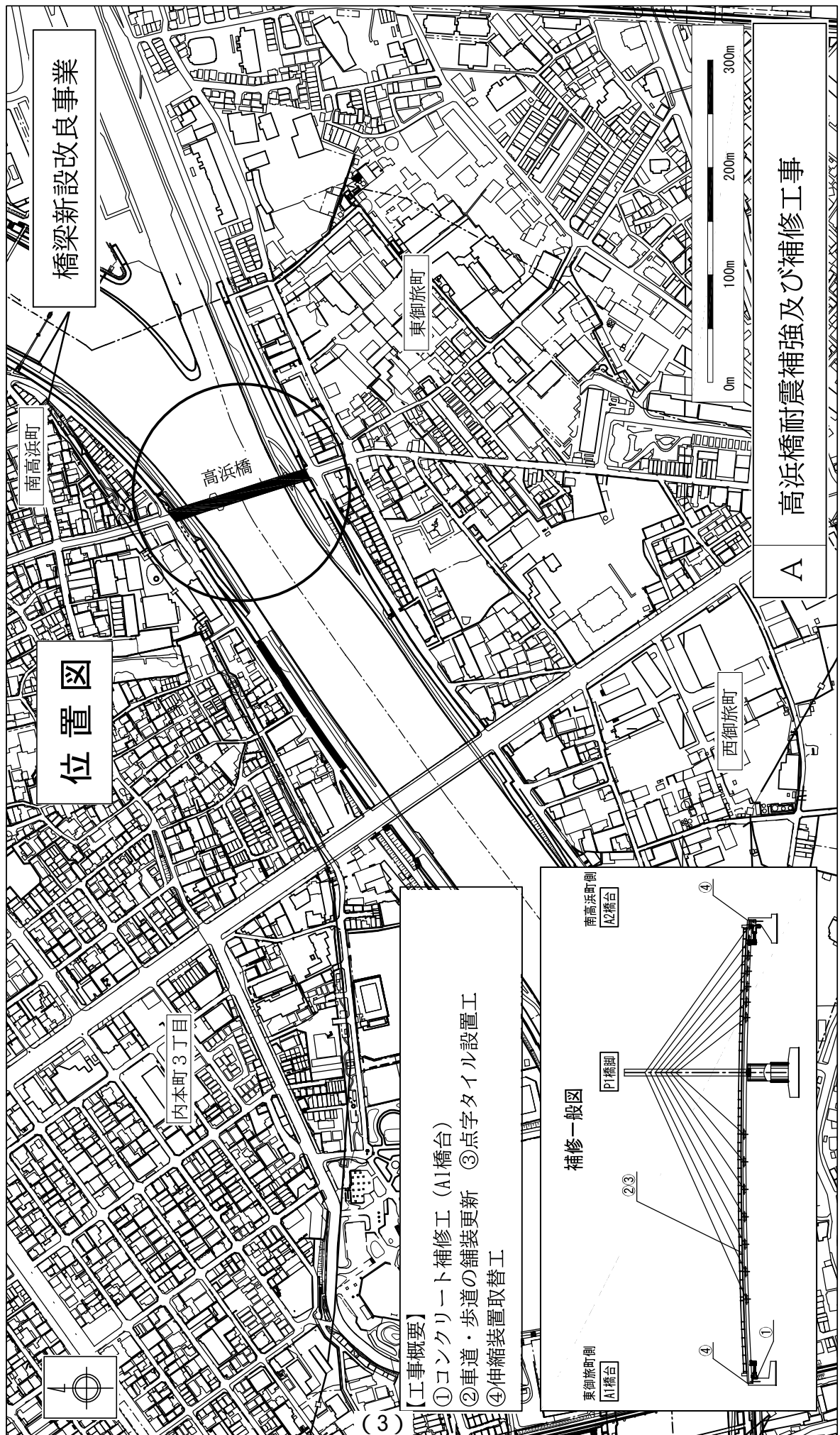
節名称	予算額(千円)	説明等
社会資本整備総合交付金	12,487	補助率 1/2、5.5/10
道路メンテナンス事業補助金	33,747	補助率 5.5/10

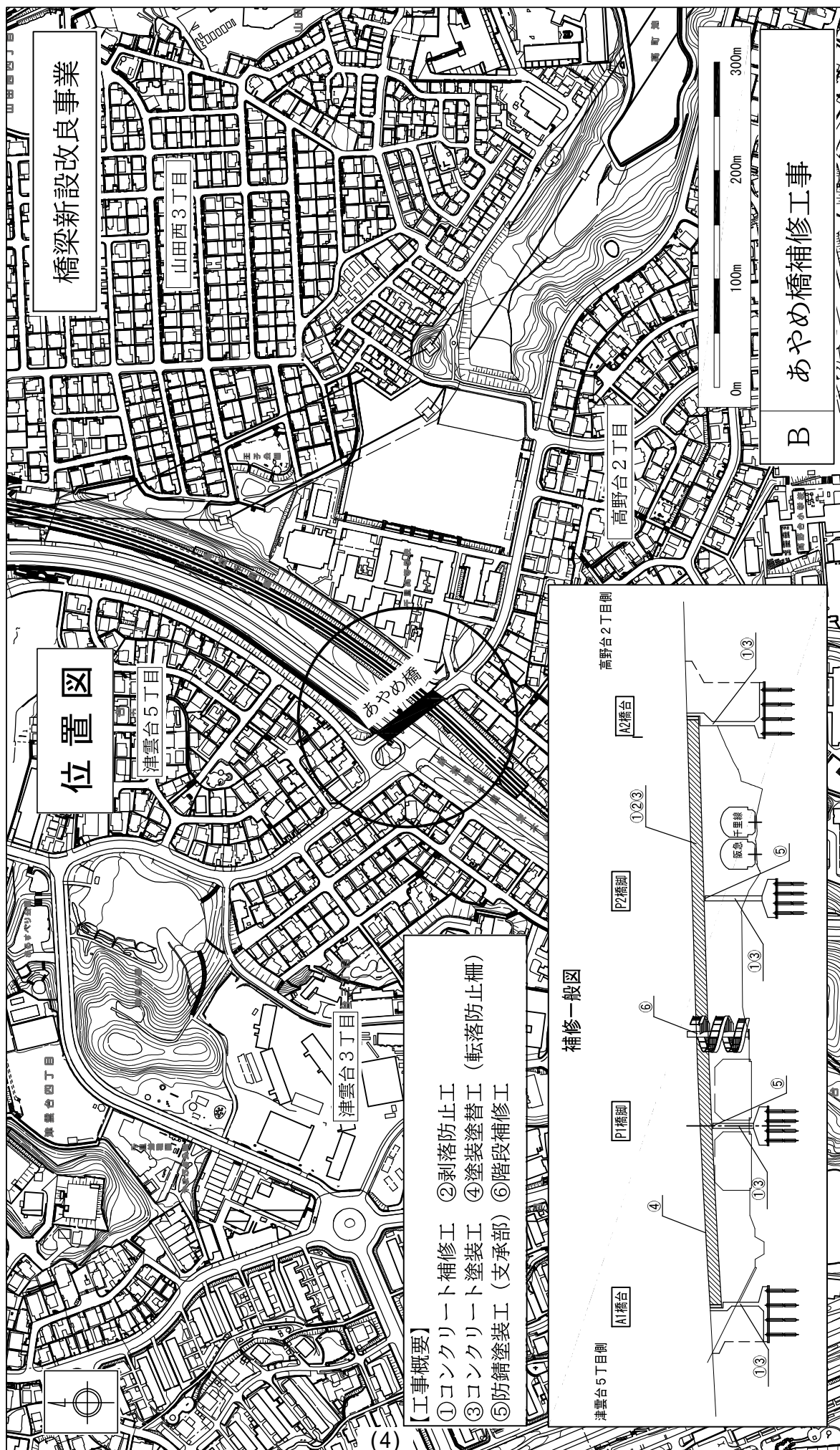
(款) 市債 (項) 市債 (目) 土木債

節名称	予算額(千円)	説明等
橋梁整備事業債	408,800	—

3 今後の予定

令和8年度（2026年度）以降	橋梁の補修補強工事等の設計業務及び工事発注 高浜橋耐震補強及び補修工事については、令和8年度（2026年度）で工事完了予定
-----------------	--





都市機能検討事業における駅前滞在空間の創出に係る社会実験について

1 事業の内容

J R 吹田駅南側駅前広場については、平成 23 年度（2011 年度）にバリアフリー化等の再整備が完了し、現在、さんくす夢広場においては、歩行空間としてだけでなくイベント等で地域の方々が活用されています。

本取組は、J R 吹田駅前にふさわしいにぎわい形成を図るため、居心地が良く歩きたくなるまちづくりを目指して、さんくす夢広場にテーブルやベンチ等のファニチャーの設置により、滞在空間を創出し、人の流れの変化について検証等を行う社会実験を実施するものです。

【区域図】



2 予算額

歳出予算 1,244 千円

(款) 土木費 (項) 都市計画費 (目) 都市計画総務費

(大事業) まちづくり計画事業 (小事業) 都市機能検討事業

節名称	予算額(千円)	説明等
需用費	1,000	社会実験にて必要となる物品の購入に係る費用
役務費	50	賠償責任保険に係る費用
委託料	118	社会実験実施区域の清掃等に係る業務委託費用
使用料及び賃借料	76	社会実験の効果測定に係る費用

3 今後の予定

令和8年(2026年)4～6月	配置案の作成(地元関係者との意見交換)
7～9月	物品の調達
10月～12月のうち、1か月程度	社会実験
令和9年(2027年)1～3月	効果検証

公園等管理事業における紫金山公園指定管理者制度導入に係る予算について

1 事業の内容

紫金山公園においては、令和 5 年度（2023 年度）からアンケート調査や市民ワークショップ、社会実験、民間事業者へのヒアリングなど、官民連携による魅力向上事業に取り組んでいます。

令和 7 年（2025 年）6 月に「紫金山公園の目指すべき姿」を策定し、その実現に向けた取り組みの一つとして、指定管理者制度を導入するものです。

2 予算額

(1) 歳出予算 126 千円

(款) 土木費 (項) 都市計画費 (目) 公園整備費

(大事業) 公園緑地事業 (小事業) 公園等管理事業

節名称	予算額(千円)	説明等
報酬	126	紫金山公園指定管理者候補者選定委員会

(2) 債務負担行為

事項	期間	限度額
紫金山公園指定管理業務	令和 8 年度～令和 14 年度	304,125 千円

3 今後の予定

令和 8 年（2026 年）7 月～8 月	第 1 回、第 2 回指定管理者候補者選定委員会
9 月～11 月	指定管理者募集
12 月	第 3 回指定管理者候補者選定委員会
令和 9 年（2027 年）3 月	指定管理者の指定
10 月	指定管理業務開始

4 関連事業

令和 8 年度は、指定管理者制度導入と併せ、再整備に向けた基本設計に取り組めます。

(1) 歳出予算 33,534 千円

(款) 土木費 (項) 都市計画費 (目) 公園整備費

(大事業) 公園緑地事業 (小事業) 公園等整備事業

節名称	予算額(千円)	説明等
委託料	33,534	基本設計委託料

公園等整備事業における令和 8 年度（2026 年度）の工事について

1 事業の内容

「吹田市都市公園等整備・管理方針」に沿って策定された各個別計画や、それらを総合的に行う「公園施設再整備計画（Re パークプランすいた）」に基づき、施設の整備や改良を行うものです。

令和 8 年度実施予定の主な工事

(1) 公園施設安全・安心対策整備

- ⇒遊具点検結果及び公園施設長寿命化計画に基づく、遊具等の個別施設の撤去更新工事。
・公園施設安全・安心対策工事（南正雀わんぱく広場ほか）

(2) 公園便所整備

- ⇒公園便所基本計画に基づく、便所整備工事。
・豊津公園便所更新工事
・未広公園便所更新工事
・新芦屋中央公園便所更新工事
・北之町遊園便所更新工事

(3) 公園等再整備

- ⇒公園施設再整備計画に基づく、老朽化施設の更新、バリアフリー整備、その他維持管理上の課題解消を目的とした面的な整備工事。
・千里丘上公園再整備工事
・くちなし公園再整備工事
・原竜が池公園再整備工事 他

2 予算額

(1) 歳出予算 450,121千円

（款）土木費（項）都市計画費（目）公園整備費

（大事業）公園緑地事業（小事業）公園等整備事業

節名称	予算額(千円)	説明等
工事請負費	450,121	公園施設安全・安心対策整備、公園便所整備、公園等再整備

(2) 歳入予算（特定財源） 316,100 千円

（款）国庫支出金（項）国庫補助金（目）土木費国庫補助金

節名称	予算額(千円)	説明等
社会資本整備総合交付金	60,000	補助率 5/10

（款）市債（項）市債（目）土木債

節名称	予算額(千円)	説明等
公園整備事業債	256,100	—

3 経過及び今後の予定

令和8年（2026年）3～7月	実施設計・工事発注準備
令和8年（2026年）7～9月	工事契約
令和8年（2026年）9～11月	工事開始
令和9年（2027年）3月	竣工

総合的自転車対策事業（自転車駐車場）における「吹田市自転車利用環境整備計画（吹田市自転車活用推進計画）」の改定に係る委託業務について

1 事業の内容

「吹田市自転車利用環境整備計画」は、「はしる」「まもる」「とめる」「つかう」を基本方針とし、自転車を安全・安心・快適に利用できる環境づくりを総合的に推進するため、平成 29 年（2017 年）3 月に策定しております。

本計画は、計画期間を平成 29 年度（2017 年度）から令和 8 年度（2026 年度）までの 10 年間とし、中間年である令和 3 年度（2021 年度）に「吹田市自転車利用環境整備計画（吹田市自転車活用推進計画）」と見直し、自転車活用推進計画と位置づけたことで、施策のひとつである自転車通行空間の整備事業が国庫補助の対象となっております。

本市では、これまで本計画に基づいて、自転車通行空間の整備及びライフステージに応じた安全教育の実施等の施策を実施してきましたが、令和 8 年度（2026 年度）をもって一旦計画期間が終了します。この間、自転車通行空間の整備においては、令和 8 年度（2026 年度）末目標 25 km（計画整備総延長 40.73 km）に対し、令和 7 年度（2025 年度）末時点の予定で整備済延長 20.51 km（整備率 82.0%）、ライフステージに応じた安全教育においては、新たに中学生への自転車安全教育を実施する等してきましたが、引き続き「自転車を安全・安心・快適に利用できる環境づくり」を総合的に推進することが必要な状況です。

そのため、施策の継続した実施や国庫補助を継続して利用するため、本業務においてアンケート調査の実施、事業進捗状況や上位計画等背景となる社会情勢の把握を行い、合わせて、吹田市自転車利用環境整備計画会議で課題や今後の取組み等について意見・助言を伺いながら本計画の改定を行うものです。

2 予算額

歳出予算 8,026 千円

（款）土木費（項）都市計画費（目）自転車駐車場費

（大事業）総合的自転車対策事業

（小事業）総合的自転車対策事業（自転車駐車場）

節名称	予算額(千円)	説明等
報償費	126	吹田市自転車利用環境整備計画会議委員報酬
旅 費	2	吹田市自転車利用環境整備計画会議委員旅費
委託料	7,898	「吹田市自転車利用環境整備計画（吹田市自

		転車活用推進計画)」の改定に係る委託業務
--	--	----------------------

3 今後の予定

令和8年（2026年）7月頃	アンケート調査
令和8年（2026年）12月頃	パブリックコメント
令和9年（2027年）3月頃	公表

緑化推進事業における第3次みどりの基本計画策定支援業務について

1 事業の内容

現行計画である吹田市第2次みどりの基本計画（改訂版）が令和7年度（2025年度）に目標年次を迎えることから、現行計画の評価、検証を行い、近年の社会潮流や法改正などの動向を踏まえた吹田市第3次みどりの基本計画を策定するものです。

策定の検討にあたっては、学識経験者4名、公募市民1名による吹田市第3次みどりの基本計画策定検討会議（以下、「検討会議」という。）を立ち上げ、令和9年度にかけて全5回の開催を予定し、その間に緑被率調査、市民アンケート調査を行い、それらの結果を踏まえた検討を行います。

なお、現行計画は第3次みどりの基本計画が策定されるまで延長するものとします。

2 予算額

(1) 歳出予算 5,361 千円（令和8年度（2026年度））

（款）土木費（項）都市計画費（目）緑化推進費

（大事業）緑化推進事業（小事業）緑化推進事業

節名称	予算額(千円)	説明等
報償費	84	検討会議
委託料	5,277	検討会議運営支援、市民アンケート実施等

※なお、本業務は令和7年度（2025年度）から開始しており、全体の見込み額は次表のとおりです。

【歳出】

単位（千円）

節名称	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	合計
報償費	42	84	84	210
委託料	5,596	5,277	5,628	16,500
合計	5,638	5,361	5,712	16,710

各年度の委託料は千円未満を切上げているため、合計と合っておりません。

3 経過及び今後の予定

令和7年（2025年）8月	市民委員1名公募、選定
9月	委託業務契約
令和8年（2026年）3月	第1回検討会議
4月	吹田市第3次みどりの基本計画策定方針の公表
5月	市民アンケート
7月 ～令和9年（2027年）6月	第2回～第4回検討会議
8月	パブリックコメント
12月	第5回検討会議
令和10年（2028年）3月	吹田市第3次みどりの基本計画策定

別途、庁内会議、関係部署ヒアリング等は適宜実施

都市計画道路千里丘朝日が丘線道路新設事業における
令和 8 年度(2026 年度)予算について

1 事業の内容

本事業は、都市計画道路千里丘朝日が丘線の未整備区間のうち、特に車両や歩行者の通行が多い千里丘交差点付近の区間約 185m について、歩道や右折車線の設置などの拡幅整備による安全な道路空間を創出するものです。

2 予算額

(1) 歳出予算 462,872 千円

(款) 土木費 (項) 都市計画費 (目) 千里丘朝日が丘線道路新設費

(大事業) 道路事業 (小事業) 都市計画道路千里丘朝日が丘線道路新設事業

節名称	予算額(千円)	説明等
役務費	962	不動産鑑定手数料ほか
委託料	105,274	用地補償総合技術業務委託料、家屋事前調査業務委託料、支障物件調査業務委託料ほか
使用料及び賃借料	2,200	工事用地借地料
工事請負費	245,752	街路築造及び電線共同溝整備工事費ほか
公有財産購入費	83,065	用地購入費
補償、補填及び賠償金	25,619	支障物件移設補償費

(2) 歳入予算 (特定財源) 308,600 千円

(款) 国庫支出金 (項) 国庫補助金 (目) 土木費国庫補助金

節名称	予算額(千円)	説明等
都市構造再編集中支援事業 補助金	121,800	令和 5 年度に都市再生整備計画 (令和 5 年度～令和 9 年度) の採択 全事業期間での補助率 5/10

(款) 市債 (項) 市債 (目) 土木債

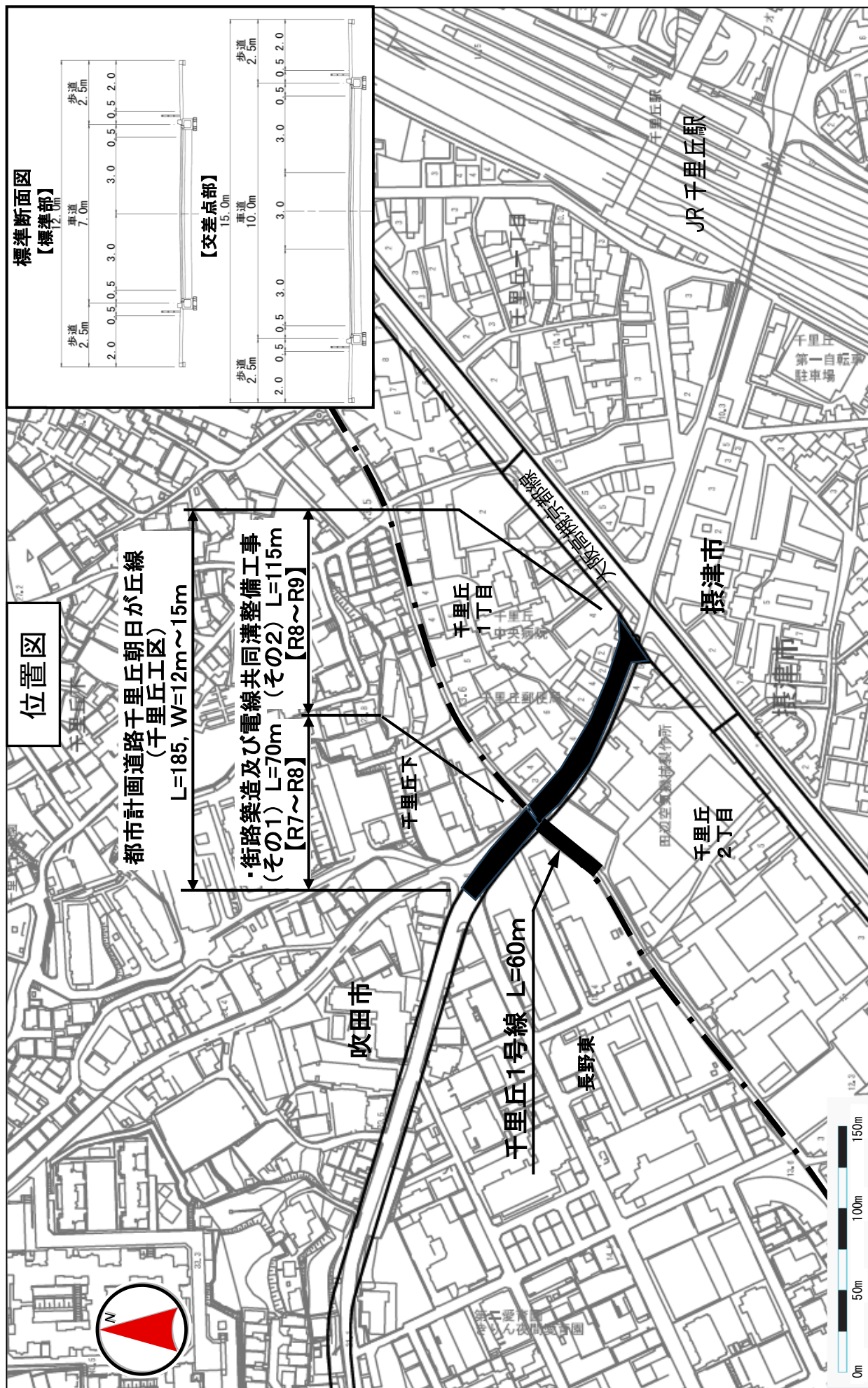
節名称	予算額(千円)	説明等
都市計画道路千里丘朝日が丘線 道路新設事業債	186,800	—

(3) 債務負担行為

事項	期間	限度額
都市計画道路千里丘朝日が丘線 街路築造及び電線共同溝整備 工事(その2)	令和9年度	239,867 千円

3 経過及び今後の予定

平成30年(2018年)4月	都市計画道路千里丘朝日が丘線道路新設事業に着手
令和2年(2020年)3月	都市計画(変更)決定
8月	都市計画事業認可取得
令和8年(2026年)3月	街路築造及び電線共同溝整備工事(その1)の着工 予定(令和9年(2027年)3月完成予定)
令和9年(2027年)1月	街路築造及び電線共同溝整備工事(その2)の着工 予定
令和10年(2028年)3月	道路完成予定



(3)

佐井寺西土地区画整理事業における令和 8 年度（2026 年度）予算について

1 事業の内容

本事業は、土地区画整理事業の実施により、都市計画道路佐井寺片山高浜線及び豊中岸部線等の公共施設の整備に合わせ、周辺宅地の利用増進を図り、秩序ある良好なまちづくりを行うものです。

2 予算額

(1) 歳出予算 5,671,592 千円

(款) 土木費 (項) 都市計画費 (目) 佐井寺西土地区画整理費

(大事業) 佐井寺西土地区画整理事業 (小事業) 佐井寺西土地区画整理事業

節名称	予算額(千円)	説明等
報酬	397	審議会等委員報酬
報償費	5,593	弁護士報酬
旅費	214	審議会委員説明対応旅費、国費要望活動旅費
需用費	137	図書・新聞等購入費、印刷製本費
役務費	6,319	不動産鑑定手数料
委託料	2,244,848	阪急千里線立体交差等工事委託料、擁壁ほか詳細設計業務委託料、用地補償総合技術業務委託料ほか
使用料及び賃借料	1,502	工事用地借地料
工事請負費	1,712,683	雨水調整池等築造工事費、造成等工事費ほか
公有財産購入費	809,973	土地家屋購入費
負担金、補助及び交付金	188	街づくり区画整理協会年会費
補償、補填及び賠償金	880,459	物件補償費ほか

上記に加え、(小事業) 会計年度任用職員管理事業に 9,279 千円を計上しています。

(2) 歳入予算（特定財源） 3,821,800 千円

（款）国庫支出金（項）国庫補助金（目）土木費国庫補助金

節名称	予算額(千円)	説明等
社会資本整備総合交付金	1,537,800	社会資本総合整備計画（令和 8 年度～令和 12 年度）の採択予定 全事業期間での補助率 5/10

（款）繰入金（項）基金繰入金（目）都市計画施設整備基金繰入金

節名称	予算額(千円)	説明等
都市計画施設整備基金 繰入金	900,000	—

（款）市債（項）市債（目）土木債

節名称	予算額(千円)	説明等
佐井寺西 土地区画整理事業債	1,384,000	—

(3) 債務負担行為

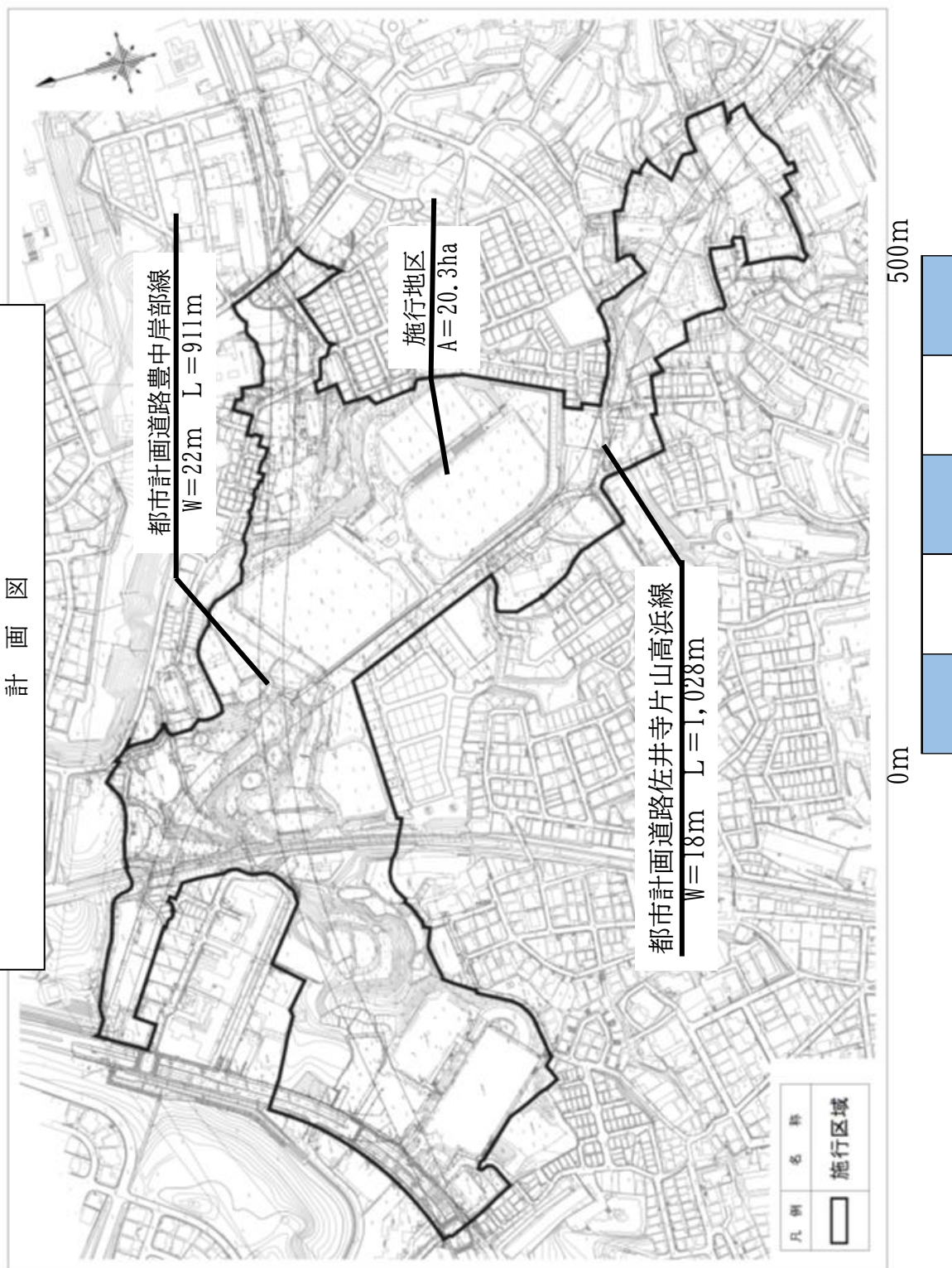
事項	期間	限度額
佐井寺西土地区画整理事業に係る 環境影響評価事後調査業務（その 2）	令和 9 年度～令和 12 年度	42,967 千円
佐井寺西土地区画整理事業 用地補償総合技術業務（その 3）	令和 9 年度	16,194 千円
佐井寺西土地区画整理事業に係る 造成工事（その 2）	令和 8 年度～令和 11 年度	5,239,480 千円
佐井寺西土地区画整理事業 用地補償費用（その 6）	令和 9 年度～令和 12 年度	379,240 千円
佐井寺西土地区画整理事業に係る 通信設備移設補償費用	令和 8 年度～令和 9 年度	48,400 千円

3 経過及び今後の予定

令和元年（2019 年）7 月	都市計画決定
令和 3 年（2021 年）3 月	事業計画決定
令和 4 年（2022 年）11 月	仮換地指定
令和 5 年（2023 年）3 月	造成等工事の着工
令和 13 年（2031 年）3 月	工事完了・換地処分・区画整理登記予定

北部大阪都市計画事業 佐井寺西土地区画整理事業

計 画 図



上の川周辺整備事業における令和 8 年度（2026 年度）予算について

1 事業の内容

本事業は、災害時の一時避難地である関西大学へのアクセス道路を強化するなど、安全・安心でにぎわいのあるまちづくりを推進するため、令和 2 年度（2020 年度）に着手した 1 期区間（上ノ川橋から蓮華寺橋までの約 300m 区間）に加えて、2 期区間（蓮華寺橋から花壇踏切までの約 350m 区間）についても大学踏切道の安全対策と併せ、遊歩道等を整備するものです。

2 予算額

(1) 歳出予算 180,897 千円

（款）土木費（項）都市計画費（目）上の川周辺整備費

（大事業）上の川周辺整備事業（小事業）上の川周辺整備事業

節名称	予算額(千円)	説明等
報償費	34	事後評価委員会委員謝礼金
旅費	61	国費要望活動旅費
委託料	103,305	阪急電鉄影響解析等業務委託料、上の川氾濫解析業務委託料ほか
工事請負費	27,454	千里山東山手線歩道拡幅工事費ほか
負担金、補助及び交付金	30,000	関西大学擁壁後退工事負担金
補償、補填及び賠償金	20,043	支障物件移設補償費

(2) 歳入予算（特定財源） 101,100 千円

（款）国庫支出金（項）国庫補助金（目）土木費国庫補助金

節名称	予算額(千円)	説明等
都市構造再編集集中支援事業補助金	15,500	都市再生整備計画（令和 8 年度～令和 12 年度）の採択予定全事業期間での補助率 5/10
地区内連携事業補助金	3,700	令和 4 年度に整備計画採択（大阪府との連名）補助率 5.5/10

(1)

(款) 市債 (項) 市債 (目) 土木債

節名称	予算額(千円)	説明等
上の川周辺整備事業債	81,900	—

(3) 債務負担行為

事項	期間	限度額
上の川 2 期区間遊歩道整備に伴うガス管移設等補償費用	令和 9 年度	65,000 千円
上の川 2 期区間遊歩道基盤整備工事	令和 8 年度～令和 12 年度	2,989,855 千円

3 経過及び今後の予定

(1) 1 期区間 (上ノ川橋から蓮華寺橋までの約 300m 区間)

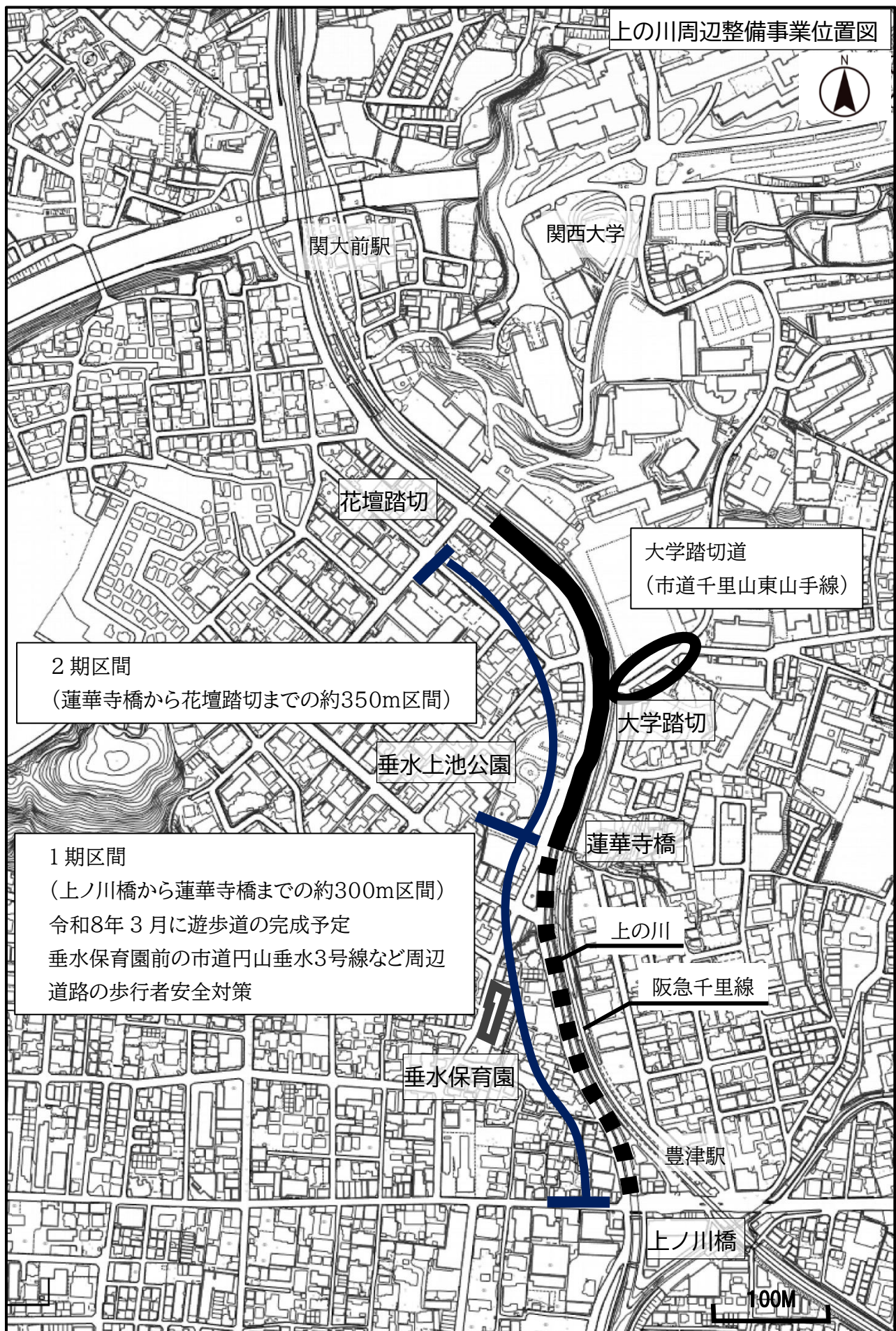
令和 2 年 (2020 年) 4 月	上の川周辺整備事業に着手
令和 8 年 (2026 年) 3 月	上の川遊歩道 (1 期区間) 整備工事の完成予定
8 月	周辺道路の歩行者安全対策の着手予定
令和 9 年 (2027 年) 3 月	歩行者安全対策の完了予定

(2) 2 期区間 (蓮華寺橋から花壇踏切までの約 350m 区間)

令和 5 年 (2023 年) 8 月	上の川遊歩道延伸検討に着手
令和 6 年 (2024 年) 9 月	大阪府との意見交換会開始
令和 8 年 (2026 年) 3 月	上の川遊歩道詳細設計業務の着手予定
令和 9 年 (2027 年) 3 月	上の川遊歩道整備工事の着工予定
令和 13 年 (2031 年) 3 月	上の川遊歩道整備工事の完成予定

(3) 大学踏切道 (市道千里山東山手線)

令和 6 年 (2024 年) 8 月	関西大学と大学敷地の一部擁壁を後退することによる歩道拡幅に関する確認書を締結
令和 7 年 (2025 年) 5 月	擁壁後退工事の着工
令和 8 年 (2026 年) 5 月	擁壁後退工事の完成予定
6 月	歩道拡幅工事の着工予定
令和 9 年 (2027 年) 3 月	歩道拡幅工事の完成予定



北千里駅前地区市街地再開発事業における補助金について

1 事業の内容

北千里駅前につきましては、平成28年（2016年）4月に策定した、北千里駅周辺活性化ビジョンの具現化に向けた取組を進めています。

現在、地権者組織である北千里駅前地区市街地再開発準備組合（以下「組合」）が市街地再開発事業に向けた事業計画の検討や関係者等の合意形成に取り組んでおり、本市においても都市計画手続きなど北千里駅前のまちづくりの推進に向けて支援しているところです。

令和8年度（2026年度）中の都市計画決定以降は組合に対し国からの交付金を活用した補助を行い、市街地再開発事業を支援していくものです。

2 予算額

(1) 歳出予算 355,600 千円

（款）土木費（項）都市計画費（目）市街地再開発事業費

（大事業）北千里駅前地区市街地再開発事業

（小事業）北千里駅前地区市街地再開発事業

節名称	予算額(千円)	説明等
補助金	355,600	市街地再開発事業に係る組合への補助金

※ 補助金の交付は都市計画決定以降になります。

(2) 歳入予算（特定財源） 177,800 千円

（款）土木費（項）都市計画費（目）市街地再開発事業

節名称	予算額(千円)	説明等
社会資本整備総合交付金	177,800	市街地再開発事業に係る国からの交付金

※ 交付要件として都市計画決定が必須になります。

3 経過及び今後の予定

平成 28 年（2016 年）4 月	北千里駅周辺活性化ビジョン策定
平成 30 年度（2018 年度）～ 令和 3 年度（2021 年度）	市街地再開発事業の実現性の検討
令和 4 年（2022 年）4 月	地権者により北千里駅前地区市街地再開発準備組合 設立
令和 8 年度（2026 年度）	（仮称）北千里駅前第一種市街地再開発事業等に係 る都市計画決定
令和 9 年度（2027 年度）	組合設立及び事業計画認可
令和 10 年度（2028 年度）	権利変換計画認可 工事着手
令和 20 年度（2038 年度）	工事完了

※都市計画決定以降の事業スケジュールについては、準備組合において検討中のため、変更となる可能性があります。

住宅政策事業におけるマンション管理適正化専門家派遣の実施について

1 事業の内容

マンションの維持管理に関して、問題が顕在化していないマンションや管理不全の兆候が見られるマンションに対し、管理不全に陥らないようにすることを目的として、行政が積極的に介入するアウトリーチ型の支援を行うものです。

管理組合が専門家派遣を依頼する従来の申請型の派遣ではなく、市がマンションの管理状況から専門家の支援が必要と判断した場合に、管理組合からの申請なしで専門家派遣を行います。

2 予算額

歳出予算 360 千円

(款) 土木費 (項) 住宅費 (目) 住宅管理費

(大事業) 住宅政策事業 (小事業) 住宅政策事業

節名称	予算額(千円)	説明等
報償費	360	マンション管理適正化専門家派遣謝礼金

3 今後の予定

令和 8 年 (2026 年) 4 月	マンション管理士会と協定を締結し、事業開始
---------------------	-----------------------

eL-QR を活用した公金収納開始に向けた公営住宅システムの改修について

1 事業の内容

地方自治法の一部を改正する法律（令和 6 年法律第 65 号）の制定及び規制改革実施計画（令和 6 年 6 月 21 日閣議決定）により、地方税以外の地方公共団体の公金において、eL-QR（地方税統一 QR コード）を活用した公金収納を活用できるよう必要な措置が講じられることとなりました。本市住宅使用料等についても eL-QR（地方税統一 QR コード）を活用した公金収納を実現するため、公営住宅システムの必要な改修を実施するものです。

2 予算額

歳出予算 7,960 千円

（款）土木費（項）住宅費（目）住宅管理費

（大事業）市営住宅事業（小）市営住宅管理事業

節名称	予算額（千円）	説明等
委託料	7,960	システム改修に係る委託料

3 今後の予定

令和 8 年（2026 年）4 月	現行システム事業者との契約締結、システム構築開始
令和 8 年（2026 年）9 月	稼働開始

教育総務事業における公費貸付による未収金対応について

1 事業の内容

令和 5 年（2023 年）4 月から教育委員会事務局による小中学校の学校徴収金の一括徴収を実施しており、保護者から徴収した学校徴収金は教育委員会名義の銀行口座で管理し、教育委員会事務局が教材購入代金の支払等の事務を行っています。

学校徴収金の未納がある場合でも、学校では必要な教材等を購入し、業者への支払も行っており、未納分の支払原資として、既に徴収している他の保護者の学校徴収金を一時的に充てていますが、他の保護者の学校徴収金を充てることなく適正な原資で業者への支払を行えるよう、学校徴収金の管理団体に対し、公費貸付を実施するものです。

（1）貸付金の名称

（仮称）学校徴収金円滑化支援金

（2）貸付期間

令和 8 年度（2026 年度）から令和 10 年度（2028 年度）※まで

※公会計化開始年度

2 予算額

歳出予算 7,000 千円

（款）教育費（項）教育総務費（目）教育委員会費

（大事業）教育総務事業（小事業）教育総務事業

節名称	予算額(千円)	説明等
貸付金	7,000	（仮称）学校徴収金円滑化支援金

3 今後の予定

令和 8 年（2026 年）4 月	学校徴収金の管理団体に対する公費貸付を実施
令和 10 年（2028 年）4 月	学校徴収金の公会計化
令和 11 年（2029 年）3 月	貸付金の返還

I C T サポーター委託業務における拡充について

1 事業の内容

平成 30 年度（2018 年度）から各小中学校において I C T 機器活用補助を目的に I C T 支援員（現 I C T サポーター）の配置を開始し、令和 5 年度（2023 年度）からは、さらなる活用推進のため巡回頻度を高めるとともに、支援内容の充実を図り、授業支援と校務支援等の両面から児童・生徒の学習環境の確保と教員の負担軽減に取り組んできました。

令和 8 年度（2026 年度）からも引き続き I C T サポーターを配置することで安心・安全な I C T 環境を確保し、全ての児童・生徒の個別最適な学び、協働的な学びを保障するものです。

2 予算額

(1) 歳出予算 115,830 千円

（款）教育費（項）教育総務費（目）教育センター費

（大事業）学校教育推進事業（小事業）学校教育情報通信ネットワーク事業

節名称	予算額(千円)	説明等
委託料	115,830	小中学校 I C T サポーター委託業務

(2) 債務負担行為

事項	期間	限度額（千円）
小中学校 I C T サポーター委託業務	令和 9 年度	89,100

3 今後の予定

令和 8 年（2026 年）4 月	現在の委託業者と随意契約
5 月	入札
6 月	事業者決定
7 月	契約締結

学習用端末のヘルプデスクにおける増員について

1 事業の内容

G I G Aスクール構想に伴い、令和 2 年度（2020 年度）から児童・生徒に 1 人 1 台の学習用端末を導入しておりますが、活用が進む一方で、学年が変わる時期の年次更新作業が年々複雑化していることや、故障・破損による代替機配備までの手続きに時間を要することなどが課題となっております。

このような課題を解決し、年度当初の端末配備や故障・破損端末への対応をより迅速化するため、ヘルプデスクの人員を増員し、各端末へ管理アカウントの設定作業を実施するとともにヘルプデスクで端末を一元管理する体制構築を行うものです。

2 予算額

(1) 歳出予算 4,620 千円

(款) 教育費 (項) 教育総務費 (目) 教育センター費

(大事業) 学校教育推進事業 (小事業) 学校教育情報通信ネットワーク事業

節名称	予算額(千円)	説明等
委託料	4,620	ヘルプデスク増員

3 今後の予定

令和 8 年（2026 年）4 月	契約締結 ヘルプデスク増員での運用開始
-------------------	------------------------

教育活動支援事業における校内教育支援教室への居場所サポーター
 （会計年度任用職員）の配置校拡大について

1 事業の内容

不登校や登校しぶり、教室に入りづらい児童・生徒等に対して、校内の落ち着いた空間の中で、個別の学習支援、相談及び困り感等のカウンセリング、友達と関わり合う活動などの適切な支援や働きかけを行うため、校内教育支援教室に、教員免許状を有する居場所サポーター（会計年度任用職員）を令和 6 年度（2024 年度）は、モデル校として 5 校、令和 7 年度（2025 年度）は 20 校に配置していますが、令和 8 年度から令和 10 年度までの 3 年間で全校配置を目指し、令和 8 年度（2026 年度）は 34 校に配置します。

＜配置内容＞

- ・配置時間：週 16 時間、8：30～12：30（1 日あたり 4 時間）
- ・配置校数（各校 1 名ずつ）

	令和 6 年度 (2024 年度)	令和 7 年度 (2025 年度)	令和 8 年度 (2026 年度)	令和 9 年度 (2027 年度)	令和 10 年度 (2028 年度)
小学校	5 校	16 校	20 校	35 校	35 校
中学校	—	4 校	14 校	14 校	18 校

2 予算額

(1) 歳出予算 55,863 千円

（款）教育費（項）教育総務費（目）教育指導費

（大事業）学校教育支援事業（小事業）会計年度任用職員管理事業

節名称	予算額(千円)	説明等
報酬	39,845	給料、地域手当
職員手当等	13,524	期末手当、勤勉手当
共済費	181	労働者災害補償保険料負担金
旅費	2,287	費用弁償

（款）教育費（項）教育総務費（目）教育指導費

（大事業）学校教育支援事業（小事業）教育活動支援事業

節名称	予算額(千円)	説明等
旅費	26	普通旅費

(1)

(2) 歳入予算（特定財源） 37,239 千円

（款）府支出金（項）府補助金（目）教育費府補助金

節名称	予算額(千円)	説明等
大阪府校内教育支援センター 支援員配置事業費補助金	37,239	補助率：府費 2/3

3 今後の予定

令和8年（2026年）3月	議決後、会計年度任用職員の公募、選考
4月	居場所サポーターの配置

教育活動支援事業における通訳者派遣から A I 翻訳機の活用への移行について

1 事業の内容

日本語指導を必要とする児童・生徒に対しては、友達や教員とコミュニケーションを図り、安心して学校生活を送れるよう、日常的な学校生活の支援を行うため、通訳者派遣の取組を行ってきましたが、当該児童・生徒は年々増加傾向にあり、通訳者の人材確保が困難であることや、教員の負担増大が継続的な課題となっていました。

これらの課題解決を図るため、通訳者派遣を廃止し、A I 翻訳機の活用へ移行します。

2 予算額

(1) 歳出予算 3,679 千円

(款) 教育費 (項) 教育総務費 (目) 教育指導費

(大事業) 学校教育支援事業 (小事業) 教育活動支援事業

節名称	予算額(千円)	説明等
需用費	1,259	消耗品費 (マイク購入費)
使用料及び賃借料	2,420	翻訳機の使用料

(2) 歳入予算 (特定財源) 806 千円

(款) 国庫支出金 (項) 国庫補助金 (目) 教育費国庫補助金

節名称	予算額(千円)	説明等
教育支援体制整備事業費補助金 (帰国・外国人児童生徒等教育の 推進支援事業)	806	補助率 : 国費 1/3

3 今後の予定

令和 8 年 (2026 年) 3 月	事業者選定
4 月	契約締結・各校に配付、利用開始

青少年クリエイティブセンター施設再編に係る基本構想の策定について

1 事業の内容

青少年クリエイティブセンターにおける青少年会館・体育館・運動広場管理棟の3施設について、運動広場の周辺用地を取得した上で、当該取得用地を含む運動広場用地へ移転・集約建替えの検討を進めます。

移転・集約建替えに当たっては、青少年のニーズの把握や課題の分析等を実施した上で、地域の方々を始めとする市民からの意見や他自治体の施設状況の調査などを踏まえ、施設の規模や配置を検討する必要があります。本事業は、それらの分析や施設配置のシミュレーション等を行い、移転・集約建替えに係る基本構想の策定を行うものです。

なお、策定に当たっては、建築関連の専門的な知見や民間ノウハウを活用した業務経験などを持つ事業者に、施設配置のシミュレーションやワークショップ等による市民意見の収集などを業務委託し、より効果的な施設の検討を進めます。

2 予算額

歳出予算 13,080千円

(款) 教育費 (項) 社会教育費 (目) 青少年クリエイティブセンター費

(大事業) 青少年クリエイティブセンター事業

(小事業) 青少年クリエイティブセンター管理事業

節名称	予算額(千円)	説明等
報償費	12	プロポーザル実施に係る学識者経験者への意見聴取謝礼
委託料	13,068	施設再編に係る基本構想策定に伴う業務委託料

3 今後の予定

令和8年(2026年)6月	委託事業者の選定 策定業務開始(ニーズ調査、施設配置の検討等)
令和9年(2027年)1月	基本構想素案の完成
2月	パブリックコメントの募集
3月	パブリックコメント結果の公表 基本構想策定

吹田市立自然の家の大規模改修工事について

1 事業の内容

令和 7 年度（2025 年度）から実施している吹田市立自然の家大規模改修工事の実施設計業務が、近く完了する見込みであるため、その設計業務の内容に基づき、今後、当該大規模改修工事を行うものです。

2 予算額

(1) 歳出予算 47,573 千円

（款）教育費（項）社会教育費（目）自然の家費

（大事業）自然の家事業（小事業）自然の家管理事業

節名称	予算額(千円)	説明等
委託料	6,191	自然の家大規模改修工事監理委託料
工事請負費	41,382	自然の家大規模改修工事費

(2) 債務負担行為

事項	期間	限度額
自然の家大規模改修工事	令和 9 年度	377,737 千円

3 今後の予定及び利用制限

期間	内容	利用制限
令和 8 年（2026 年） 7 月から 12 月まで	大規模 改修工事	外壁工事により窓の開閉制限や工事音などの影響がある中でも、全館利用可
令和 9 年（2027 年） 1 月から 3 月初旬まで		施設棟のうち、体育館、食堂、研修室は利用不可（風呂は利用可）、また、宿泊棟も一部閉鎖
令和 9 年（2027 年） 3 月初旬から 9 月まで		全館閉鎖
令和 9 年（2027 年） 10 月中旬	全館供用再開	

※今後の予定などについては、工事業者の決定後に変更する場合があります。

学校保健体育事業における教職員子宮がん検診対象年齢の引き下げについて

1 事業の内容

現在、教職員子宮がん検診は 30 歳以上の女性職員を対象としていますが、子宮がんは 20 歳代から罹患数が増加することから、教職員の妊孕性保持、健康維持を図るため、教職員子宮がん検診を年齢に関係なく受診できるよう対象年齢の制限をなくします。

	旧制度	新制度
実施期間	7 月～ 9 月	
対象教職員年齢	30 歳以上	年齢制限なし
対象教職員数	約 1,000 人	約 1,300 人
希望者見込数	167 人	215 人

2 予算額

歳出予算 313 千円

(款) 教育費 (項) 保健体育費 (目) 学校保健体育費

(大事業) 学校保健体育事業 (小事業) 学校保健体育事業

節名称	予算額(千円)	説明等
委託料	313	教職員子宮がん検診委託料

3 経過及び今後の予定

平成 19 年度 (2007 年度) 7 月～	教職員子宮がん検診実施開始 (対象者：30 歳以上の女性)
令和 8 年度 (2026 年度) 7 月～	教職員子宮がん検診実施 (対象者：希望する女性 (年齢制限なし))

